

⑥ ふれあい処「華」

豊橋市内有数のニュータウンである富士見街道(県道東赤沢植田線)の北西側のレイクタウン(富士見台1-3丁目)。この閑静な住宅街に、コミュニケーションフェレあい処「華」はある。

普通の民家だが、初めての人が入りやすいう玄関ドアは開けっ放し。そして「いらっしやいー」と元気な声が響き、運営者の竹本豊子さんの笑顔に癒やされる。数量限定のモーニングが人気のサロン。竹本さんが介護支援サポーター講座を受講し、一人暮らしのお年寄りを訪ねた時に、ポツンと寂

笑い絶えない やすらぎスポット

しそつにしていたお年寄りの姿から「ほれ」と囲碁・将棋教も気軽に来てもらえ、室も始めた。ポランティアで手伝うのティアドロップで知り合った原絵美は、町内の婦人部活動

つと息を抜けるような所がまちにあれば」と6年前に空き家を借りてスタートした。壁面はミニギャラリーになっていて手作りのお小物や洋服なども販売し、男性に

おたがいさまの
まちづくり



子さんと井場実千代さん。一軒家を利用して温かみのあるサロンを作り出している。「地域の高齢者が笑って過ごせるような場所になりたい」と毎週末の3日間、朝9時半から午後3時まで開いている。「ここへ来ると気がアットホームな雰囲気」のふれあい処「華」(はな)

持ちが安らぎ、ストレスが解消されまじ、利用者のそんな言葉が何よりうれしいと竹本さん。「高齢者が引きこもりにならずに、おしゃべりしたり、笑ったり、困ったことがあれば誰かに相談したり、そんな居場所でありたい。気軽に遊びに来ていただければ」

竹本さんの思いが込められたふれあい処「華」は笑い声が絶えない。(伊藤秀昭) ※次回は15日掲載予定です。